

浜中町役場新庁舎建設基本計画（案）に
寄せられたご意見と町の考え方について

平成29年8月

浜 中 町

浜中町役場新庁舎建設基本計画（案）に寄せられたご意見の件数

基本計画（案）の項目	合計
1 役場新庁舎建設の必要性及び検討経過	1
2 役場新庁舎建設の基本的な考え方	2
3 役場新庁舎建設位置に関する考え方	3
4 役場新庁舎の安全性に関する考え方	
5 役場新庁舎の規模に関する考え方	
6 役場新庁舎の機能に関する考え方	8
7 役場新庁舎の各フロアの考え方	
8 事業費の算定と財源対策について	
9 事業スケジュール（案）について	
その他	1
合 計	15

1 役場新庁舎建設の必要性及び検討経過

No.	ご意見	ご意見に対する町の考え方
1	<p>建設予定地の霧多布（湯沸山）での複数の場所の検討も必要かと思うが、役場庁舎の老朽化に伴う建て替え構想は、東日本大震災以前からもあったが、東日本大震災後、津波浸水予測が発表され、現庁舎は津波浸水域にあることから、早急に建て替えが必要ということになり、その建設場所については、津波災害時に孤立の恐れがあり行政機能に支障を及ぼすと考えられる、霧多布地区ではなく、浜中方面が良いとか、茶内方面が良いとか、町を二分するような意見があり、議会に於いても一度は霧多布（湯沸山）への建設提案が否決されるなどの経過がありました。</p> <p>そういった反対意見の概要や、茶内や浜中方面とのメリット、デメリットの比較検討のうえ、霧多布（湯沸山）に決定した理由、経緯等について、基本構想なり、基本計画に記載して記録として残し、30年後、50年後の後世の人たちのためにも、決して起きてほしくはないが、今後万が一、東日本大震災以上の大津波が浜中町に押し寄せた時、役場庁舎が霧多布地区（湯沸山）で良かったのか悪かったのか、その時の人々が改めて考えるための材料になるかと思えます。時間をかけて町づくり懇談会で議論したこと、町職員が検討したこと、議会で議論したことなど、町を二分するような意見があったのに、その経過や、決定までの検討経過等になぜふれないのか、基本計画や基本構想になぜ記載しないのか、不思議でなりません。是非記載することを要望致します。</p>	<p>現役場庁舎移転については、これまで様々な経過がありますが、現在進めている「基本計画」やそのベースとなった「基本構想」については、役場新庁舎建設の内容を具体的にしていくためのものであります。</p> <p>現役場庁舎移転に係る経過などは別途記録として整理してまいります。</p>

2 役場新庁舎建設の基本的な考え方

No.	ご意見	ご意見に対する町の考え方
1	<p>電気自動車用充電設備を設置し、観光客の方も気軽に来れる様にしたら良いと思います。この豊かな「自然」「環境」を守り、未来へ繋げる為にも、公用車もEVを導入していった方がいいと思います。電気自動車は、災害時には蓄電池としても活用でき、導入している市町村も増えています。</p>	<p>電気自動車の導入につきましては、費用も大きく関わることから、車両購入や充電設備設置などを含め、町の取り組みとして計画的に進める必要があると考えます。メリットやデメリットを整理しながら検討を進めてまいります。</p>
2	<p>観光シーズンになると、関東地方など内地からいらしている車が目立ちます。ふと、皆さんがこの町に何を見に来ているのかと考えると、やはり雄大な自然かと思えます。しかし、この自慢の自然を脅すものの一つに「自動車」があります。今や一家に一台は当たり前になってきている車ですが、排気ガスが悪影響を及ぼすは言うまでもありません。</p> <p>そこで、全国的に注目されている環境に優しいEV車の普及のため、充電設備の設置を希望します。まずは、町を代表して役場の公用車からEV化していくのはいかがでしょうか？EV車での観光地巡りや、EV車ユーザーの誘致をすることで町の活性化にもつながると思えます。</p>	

3 役場新庁舎建設位置に関する考え方

No.	ご意見	ご意見に対する町の考え方
1	<p>なぜ初めから3階建てで検討するのか。1階建て、2階建て、3階建ての建築コスト等のメリット・デメリット、完成後の維持管理や機器の更新などを含めた長期的なランニングコスト等の比較検討が必要ではないか。霧多布市街地や暮帰別方面の湿地より、湯沸山は地盤が強固で地震の揺れや被害の程度も少ないと思われ、1階建てにすれば免震構造でなく、割安な「耐震構造」で可能と思われる。また、津波被害や雨や川などの浸水被害の恐れもないし、配置計画の基本方針にある周辺環境の調和に配慮すれば3階建てで目立つより1階建てのほうが目立たないし、維持管理やエレベーターの必要もない。標高が高い分、風雪は強いため、風当たりの少なくなる1階建てが良いと思うし、暖房の面から、北側（霧多布市街地方向）は、窓の面積を極力小さくすべきと思われる。（図面にある眺望の方向になる。）</p> <p>防災対策上、火災や、津波状況把握のためということであれば、霧が多い場所のため、普段でも見通しが悪く、あまり有効とも思えないが、その部分だけ一部2階部分を作るのはやぶさかではないと考える。1階建てにするのに敷地面積の制約があるとすれば、候補地3のスペースや、その南側の海産干場を整理統合して余裕のある敷地を確保すべきだと思います。</p>	<p>役場新庁舎の建設位置は湯沸山高台の中で長期的な視点に立った敷地活用など、8項目の選定条件から総合的に判断し「候補地2」を選定しております。</p> <p>また、役場新庁舎は「防災機能が充実した庁舎」を基本理念の一つとしており、災害時に多くの一時避難者を収容しつつ、行政機能の維持することを整備方針としております。</p> <p>階数の検討では最終的に2階建てとの比較検討を行いました。一時避難者エリアの区分や限られた面積の敷地に避難者の駐車スペースを最大限に確保することを考慮し、役場新庁舎の階数を3階と計画しております。</p>
2	<p>13ページの図面の中の役場からの「眺望」や選定条件の⑧「役場庁舎からの景観や周囲への影響」とあるが、職員が眺望を楽しみながら仕事をするわけでもないし、議会関連や会議室等を3階にして、霧多布方面の景観を楽しみながら議会や会議を行うわけでもないし、来客者にしても最初は目新しく眺望できる場所に足を運ぶかもしれないが、わざわざ役場に眺望や景観を楽しみに来る者はいないと考える。役場庁舎からの眺望だとか景観だとかの考え方は変だと思う。むしろ観光振興のためという考えであれば「ゆうゆ」がそろそろ年数的に、いろいろな箇所改修の時期に来ていると思うので、その時にでも展望室などを設けた方がいいと思います。（霧のない時の夕焼けを売りにするとかできると思います。）</p>	<p>防災対策上、市街地や海を目視できることが重要であると考えております。</p> <p>また、役場新庁舎へは町内外より多くの来庁者が訪れることが想定されますので、現時点では眺望の良い場所に来庁者の休憩スペースを配置することを検討しており、風光明媚な風景が来庁者の記憶に残り、多くの方々に親しまれる庁舎となるよう検討を進めたいと考えております。</p>
3	<p>ヘリポートはむしろ少し離れた海産干場のあたりに、大型ヘリが止まれる大きなスペースを作った方がいいと思うし、ヘリが使わない時は津波避難の駐車場や、消防、自衛隊、警察車両等の待機場所等に活用できると思います。</p>	<p>役場新庁舎の建設敷地は、一時避難者の駐車スペースの確保を優先する考えから、ヘリコプターが離発着できるスペースは、敷地外に防災広場として整備する計画で進めております。また、ご意見を参考に消防や警察の緊急車両の待機場所としても活用したいと考えております。</p>

6 役場新庁舎の機能に関する考え方

No.	ご意見	ご意見に対する町の考え方
1	休憩コーナーの設置を検討する際、自動販売機の設置も検討してほしい。	ご意見を参考に休憩スペースの付近に自動販売機を設置することについて検討してまいります。
2	トイレの数を増やしてほしい。	各フロアに配置されるトイレ内に便器の設置数を多くできるようにレイアウトを検討してまいります。
3	霧多布地区で想定される津波の最大遡上高が13.9mであれば海岸近くの住宅が損壊・流出するため生活拠点が奪われ長期間の避難を余儀なくされることが想定される。 このことから避難所は役場庁舎の最上階全フロアとし、備蓄庫・トイレ・洗面所・炊事室等を備えた生活弱者や女性のプライバシーに配慮された避難所が望ましいと思います。	現在、避難スペースを3階のフロア全体と1階の一部とし、職員の執務スペースと区分できるよう計画を進めております。各避難スペース付近には備蓄庫やトイレを配置し、1階には炊出しが可能な炊事室を整備したいと考えております。引き続き、避難者に配慮した避難スペースとなるよう検討してまいります。
4	道路が分断されたときに物資の受入れや病人・怪我人のスムーズな搬送を確保するためヘリポートは屋上に設ける。	ヘリコプターが安全に離発着するためには広いスペースが必要となることから、敷地外に防災広場を整備し、ヘリコプターが離発着できるスペースとしても活用する計画を進めております。
5	茶内や浜中方面に避難した住民が避難所で海や市街地の情報がリアルタイムで見られるように、屋上に情報カメラを設置して避難所のモニターで見られるようにする。	役場新庁舎屋上への情報カメラ設置及び活用方法について、今後検討してまいります。
6	災害時以外は昼間解放し、町民や観光客も360度の眺望を楽しめるほか、町内の物産品の展示もする。このため、避難所へは役場庁舎内を通らず別の階段（エレベーター）から出入りし、災害時のみドアの開錠により庁舎との往來を可能とする。	役場新庁舎からの眺望を活かした休憩スペースや物産品展示スペースの配置について検討してまいります。 避難スペースへの出入方法につきましては、管理面なども考慮したうえで検討を重ねてまいります。
7	防犯カメラの設置によりセキュリティ対策をする。	防犯カメラの設置を含めた役場新庁舎の防犯対策方法について、今後検討してまいります。
8	塩害の受ける可能性のある箇所にふれているが、霧多布地区（湯沸山）は建物全体が塩害を受けることになると思われる。	役場新庁舎の建設敷地は塩害の影響を受けやすい場所ですので、塩害の影響を受けにくい外壁材を採用するなどの検討をしてまいります。

その他

No.	ご意見	ご意見に対する町の考え方
1	<p>「基本構想」についての意見もそうだが、この基本計画についての意見等も、私のようにインターネットを利用できない高齢者のためにも、町のホームページだけでなく、町広報誌に載せるとか、町内配布で全戸に配るとかの方法をとっていただきたい。基本構想も、個人や町内会から多くの意見があったと思うが、インターネットを使える方は見れるが、私はどんな意見が寄せられたのか、いまだにわからないでいる。</p> <p>広く町民から意見を募集した役場として、その意見等についてインターネットを見られる一部の人だけでなく、広くいろんな人が見られるようにする事は、最低限の礼儀ではないかと思えます。</p>	<p>「基本構想（素案）」やこの度の「基本計画（案）」に対し寄せられたご意見などをお知らせするにあたっては、町の考え方や寄せられたご意見を参考に策定した計画などと併せてお知らせすることが望ましいと考えております。</p> <p>そのため、この度のご意見を頂戴し、インターネットを利用できない方であっても町の考え方を知ることができるよう、町が2月に全戸へ配布した「基本構想（素案）」から、この度まとめた「基本計画（成案）」までの一連の経緯を閲覧できるよう、町内の公共施設（役場、茶内支所、浜中支所、文化センター、総合体育館、農業者トレーニングセンター）に備え付け、より多くの町民の皆様にご覧いただくよう工夫いたします。</p>